

橋田邦彦 （橋田邦彦） 生理學者、醫學博士。明治十五年二月十五日鳥取縣倉吉生れ、昭和二十年九月十四日歿（二八〇—一九四五）。舊姓藤田。號無適。明治四十一年東京帝國大學醫科大學卒。歐洲留學後、大正十一年同大教授、昭和十一年第一高等學校校長兼任。十五年文相就任、日本藝術院の創設、文化勳章の制定に當る。十九年教學速成所所長として戰時の教學、科學技術行政を主導した。終戦後戰犯容疑で出頭を求められ服毒自殺。

著書に、『生理學』全二冊（上・昭和八年十二月二十日、下・九年十一月十五日）、『訂改生理學』全二冊、上・十四年四月二十日、下・十五年四月五日岩波書店「岩波全書」）、『碧潭集』（山極一三編、昭和九年二月五日岩波書店）、『空月集』（山極一三編、昭和十一年十一月十日岩波書店）、『自然と人』（橋田邦彦先生講演集一）（山極一三編、昭和十一年十一月十日京都・人文書院）、『行とこころの科學』（山極一三編、昭和十四年二月二十日岩波書店）、『科學する心』（昭和十五年十月二十日教養館「教學叢書」）。その他、十一月十二日笠原細亞出版社）、『碧潭語錄』（碧潭會一杉靖二編、昭和十四年二月二十五日日本醫學會雜誌社（公會社）等。

